

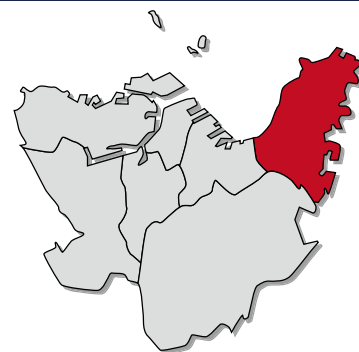
保存版

北九州市

防災 ガイドブック

生き抜く術の心得帖

門司区版



平成 27 年 6 月発行



昭和 28 年 6 月北九州大水害による、相次々山崩れで将棋倒しとなった家屋
(門司区・毎日新聞社撮影)



平成 11 年 9 月台風第 18 号による高潮災害
(門司区)



昭和 28 年 6 月北九州大水害による、浸水状況
(小倉北区・朝日新聞社撮影)



これだけはおさえこぼし

- ▼ 最も重要なのは事前の備えと早めの避難
- ▼ 命を守ることに最善を尽くす
- ▼ 率先して行動する
- ▼ 災害ごとにその場そのときで命を守る対応は異なる
- ▼ ハザードマップは絶対ではない

予定避難所に自主避難するときは連絡が必要です。(予定避難所の安全確認とカギを開けるため)

門司区役所 総務企画課
TEL 093-331-1881 (代)

【夜間・休日】門司消防署
TEL 093-372-0119

凡例

避難場所 (平成27年4月現在)

- 予定避難所
- 一時避難地 (〇〇公園)
- 広域避難地 (〇〇公園(広))

※災害の種類によって、使用できない避難所があります。各避難所の適応する災害の種類は、

- 洪水 土砂災害 津波 火事
 - 内水 地震 高潮
- です。P.45～P.46でご確認ください。

土砂災害 (平成27年4月現在)

がけ崩れ

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

土石流

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

地すべり

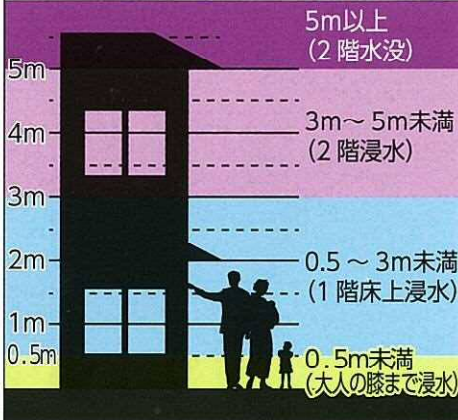
- 土砂災害警戒区域

洪水 (平成27年4月現在)

---[河川はん濫(外水はん濫)]---

- 想定浸水深
- 5.0m以上
 - 3.0～5.0m未満
 - 0.5～3.0m未満
 - 0.5m未満

浸水深と家屋の関係



▲ 水位観測所

---[内水はん濫]---

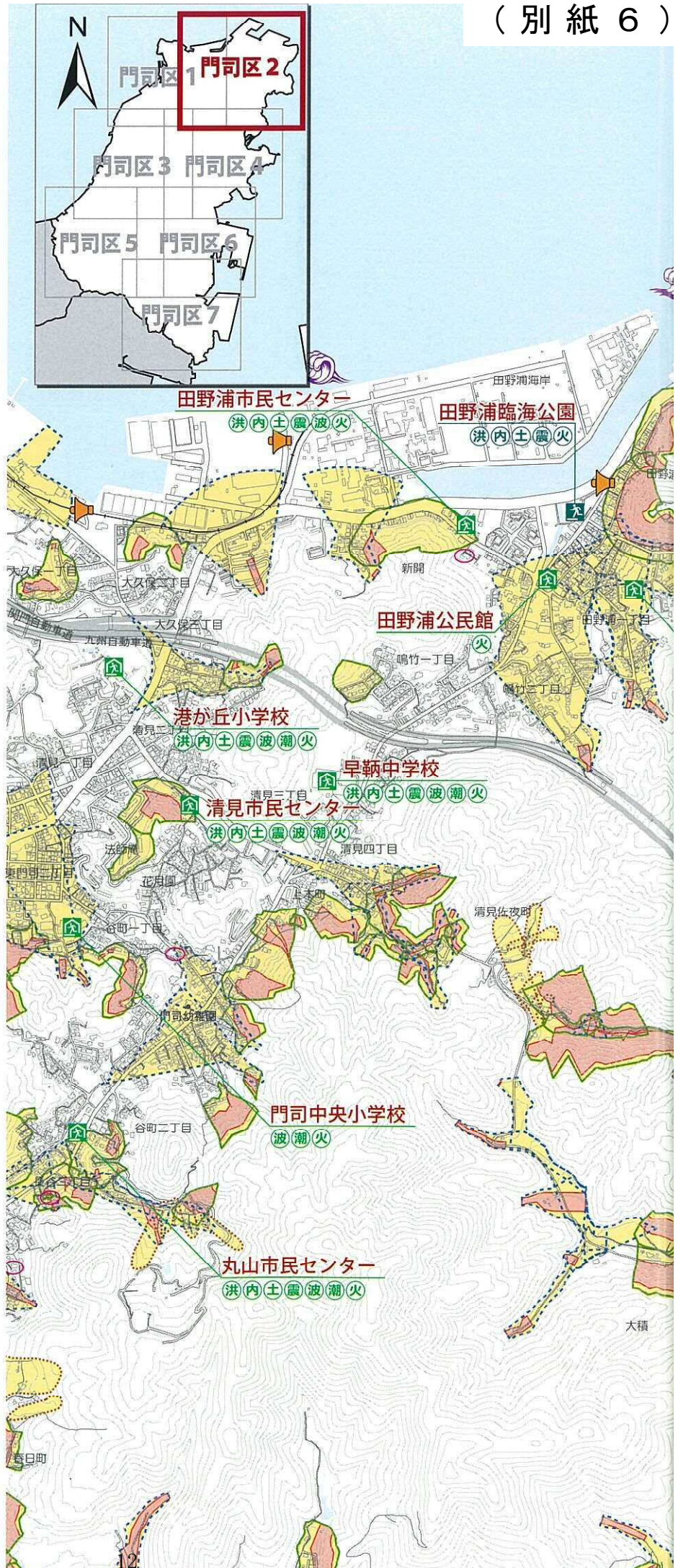
- 内水被害発生箇所 (平成19年度以降、内水被害の通報があった箇所)
- アンダーパス (掘下げ型立体道路)

高潮

- 高潮発生箇所 (平成11年度以降)

防災スピーカー

- 防災スピーカー



あなたやあなたの大切な人の命を守るために

「北九州市は自然災害が少ない比較的安全な場所だ」とお考えの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

昭和28年の北九州大水害では、土砂災害や河川はん濫によって、多くの被害が発生しましたが、その水害の経験を知らない方や、遠い昔話のように聞いている方も多いためではないでしょうか。しかし、自然災害は数十年、数百年、ときには311東日本大震災のように千年に一度という時間スケールの中で発生しました。自分が知っているこの地の歴史の中で甚大な災害がなかったことをもって、北九州市は自然災害に対して安全なまちだと考えるのは、誤りと言わざるを得ません。

まさかの事態が我が身に降りかかるのが災害です。そのような事態に直面したとき、特に周りの人が誰も避難していない中で、人はなかなか適切に避難することができません。

しかし、あなたが率先して避難行動をとることができたらどうでしょうか。

あなたの主体的な行動によって、周りの人も危険を感じ、つられて逃げるすることができます。また、大人達の行動を見た子どもや孫達は、それを当たり前前の行動とするようになり、いつの日か起こる災害の際、命を守ることができるとしてよい。

この「北九州市防災ガイドブック」を見ていただき、改めて地域の災害の特徴を知り、その日そのときに適切な行動がとれるように、「災害ごとに命を守る対応」について、家庭、地域、学校で考えてみましょう。



片田 敏孝

群馬大学大学院理工学府 教授
北九州市防災アドバイザー

命を守る対応

を考えましょう

災害ごと



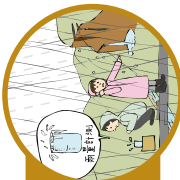
「避難」は「災害から命を守るための行動」です。このガイドブックで、災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認し、裏表紙の「あなたの心得帖」に記入しましょう。避難先は、予定避難所に限らず、複数確認しておきましょう。

土砂災害

避難の心得 P.5~P.6

原則

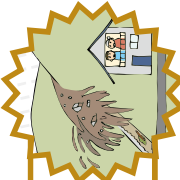
雨や予兆現象に注意し、早めの避難



気象情報
避難情報
に注意

逃げ遅れたら

頑丈な建物や2階以上の斜面から離れた場所へ

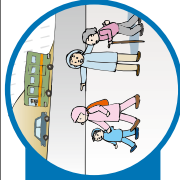


洪水

避難の心得 P.9~P.10

原則

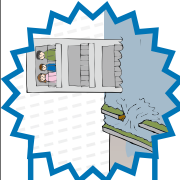
浸水前の早い段階に安全な場所へ



気象情報
水位情報
避難情報
に注意

逃げ遅れたら

浸水した後は、より高い場所へ



高潮

避難の心得 P.13~P.14

原則

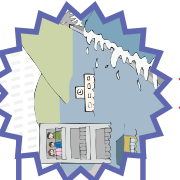
台風が近づいて風が強くなる前、浸水の前に安全な場所へ



台風情報
高潮情報
避難情報
に注意

逃げ遅れたら

風が強くなった後や浸水した後は、より高い場所へ



地震

心得 P.19~P.20

原則

事前の耐震化や家具の固定が第一



阪神・淡路
大震災犠牲者の
約8割が
圧死・窒息死

揺れを感じたら

まず身の安全を確保



原則

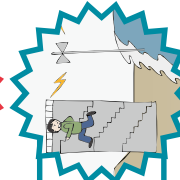
できるだけ早く、高いところへ



大きな揺れ
長い揺れ
津波情報
に注意

逃げ遅れたら

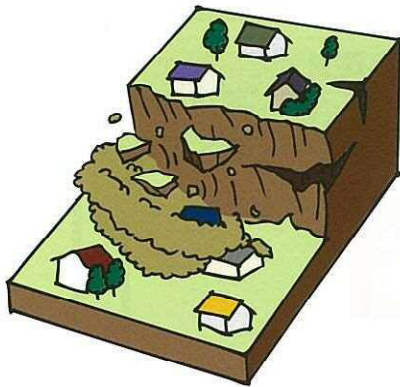
近くにある少しでも高い頑丈な建物、高い場所へ駆け上がる



土砂災害の種類と前ぶれ (予兆現象)

がけ崩れ

地面にしみ込んだ水が斜面をゆるめ、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることを「がけ崩れ（急傾斜地崩壊）」といいます。



！ がけ崩れの危険 が迫っているかもしれません

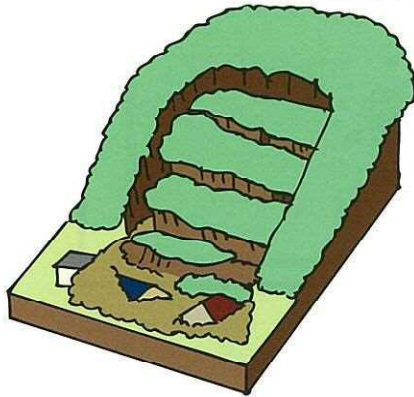
がけに割れ目が見える

がけから水が湧き出ている

がけから小石がぱらぱら落ちてくる

地すべり

地下水などの影響により、地面が広い範囲にわたってゆっくりとすべり落ちるのが「地すべり」です。



！ 地すべりの危険 が迫っているかもしれません

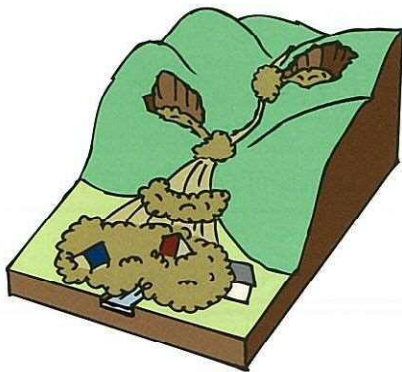
地面にひび割れができる

沢や井戸の水が濁る

斜面から水が噴き出す

土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものを「土石流」といいます。



！ 土石流の危険 が迫っているかもしれません

山鳴りがする

急に川の流れが濁り、流木が混ざっている

雨が降り続けているのに川の水位が下がる

このほかにも・・・

！ こんなときは注意しましょう。

- 地鳴り、木の根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、肥やしのにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる

◎自主避難のルールを決めておこう

全ての予兆現象をひとりで確認するのは困難です。異変を感じたら周囲で情報を共有し、みんなで逃げられるよう、ルールを決めておきましょう。また、地域での避難訓練等に積極的に参加しましょう。

